

# こんなときは

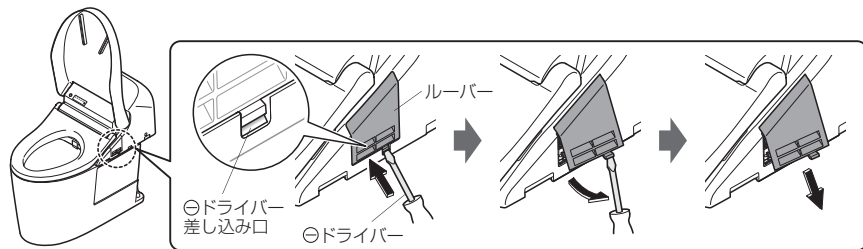
## 脱臭が弱くなったとき

脱臭フィルターを掃除してください。(P.37)

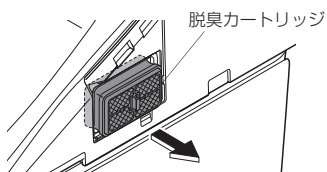
それでもにおいが気になるときは、脱臭カートリッジを交換してください。(購入はP.58)

### 1 電源プラグを抜く

### 2 便ふたを開いて、ウォシュレット本体右側面のルーバーを取りはずす



### 3 脱臭カートリッジを取りはずす

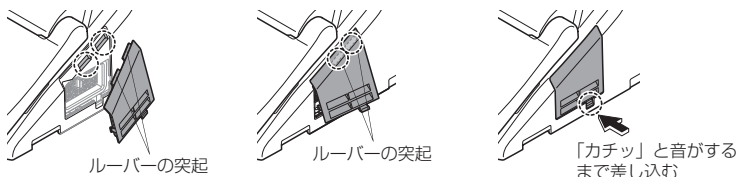


#### ご注意

脱臭カートリッジの黒粉が手に付いたときは、すぐに手を洗ってください。(炎症を起こすおそれ)

### 4 新しい脱臭カートリッジとルーバーを取り付ける

確実に奥まで押し込む



### 5 電源プラグを差し込む

「運転」ランプが点灯する

## 凍結予防をするとき

外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。

便器の種類によって凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

#### お願い

- 外気温が0℃以下になるときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- 周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。
- 作業前に、「オート便器洗浄」(P.27)「オートふた開閉」(GG2・GG2-800・GG1・GG1-800以外)(P.27)を「切」、「電子音」(P.30)を「鳴らす」にしてください。

## 流動方式

便器とウォシュレットの水を、一定の間隔で自動で流して、凍結を予防する方法です。

#### ■設定のしかた (P.30)

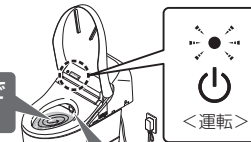
リモコンで「凍結防止」を「入」にしてください。

凍結防止中は、次のように作動します。

- 「運転」ランプが点滅する
- 約5分間隔で便器洗浄する
- 約50mlの水が5分間隔でノズル付近から出る(ノズルは収納したまま)
- 手洗い付の場合、手洗管からも水が出る

約5分間隔で  
便器洗浄

約5分間隔でノズル  
付近から水が出る



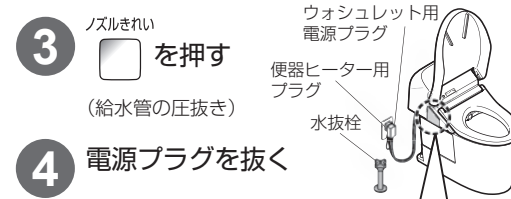
## ヒーター付便器・水抜併用方式

### 1 水抜栓を操作して、給水を止める

#### お願い

- 止水栓は開けたままにしておいてください。(製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれ)

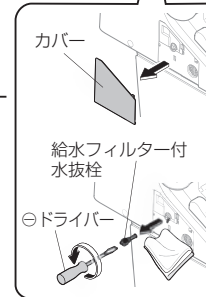
### 2 大水量ボタンを押してタンクの水を抜く



### 4 電源プラグを抜く

### 5 配管の水を抜く

- カバー・給水フィルター付水抜栓を取りはずす  
・ドライバーでゆるめた後、引っ張る
- 水抜きが終わったら、給水フィルター付水抜栓・カバーを取り付ける  
・ドライバーで確実に締める



### 6 電源プラグを差し込む

「運転」ランプが点灯する

### 7 ウォシュレット内を保温する

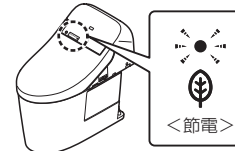
- リモコンランプすべてが点滅するまで押す(約10秒)

- 押し

ウォシュレット本体がリモコンの信号を受け付けると「ピッ」という電子音が鳴ります。

- 押し

ウォシュレット本体表示部の「節電」ランプ(オレンジ色)が点滅します。



再度ウォシュレットをお使いになるときは  
・再通水が必要です。(P.45)

#### お知らせ

- ヒーター付便器は室温が5℃以下になると自動でヒーターが入ります。
- 凍結のおそれがないときは、ヒーター付便器の電源プラグを抜いておいてください。